

活動報告 No.173 角 章子 (石川県)

2014年6月15日

杉浦孝蔵先生をお招きして山菜アドバイザーメンバーが関わる「ササユリ保存会」の栽培地を見学をして花を咲かせるまで3年から5年はかかるササユリの沢山の花見ました。

里山での山菜探しの後は昼食を食べながら山菜アドバイザーメンバーのそれぞれの活動報告会もありその中で話題になった能登半島の各地で地域おこしに頑張るメンバーの地元グループの見学も翌日に行われました。

6月15日の夕方には世界農業遺産のとの里山の農家民宿で注目の能登町「春蘭の宿」の交流施設で救荒食物図を用いた杉浦孝蔵先生の講演に山菜アドバイザー谷口藤子のお料理アドバイスなど農家民宿の方、山菜アドバイザーメンバーを交えた学習会となりました。参加人数34名。

翌日には輪島市金蔵地区のヒシの池の視察、どうじょうの養殖場、ヤマメの養殖場の視察もおこない、また農水省のモデル地域となっている輪島市三井町まるやま組も散策しました。

能登半島の生物多様性は小さい地域ごとに個性的なものが見られます。杉浦先生には地元穴水町の市場、七尾市の大型の市場も見学して頂きました。

一泊二日とはいえ盛りだくさんのスケジュールとなり意味ある研修会を持つことが出来ました。

能登町春蘭の里が複製を保管する 救荒食物図はなかなか面白く、今後谷口藤子、角章子がレポートし杉浦先生にご指導いただく興味深い山菜文化の研究テーマとなりそうです。